

福津市10年のあゆみ

平成17年1月24日に福津市が誕生してから10年。その間さまざまな出来事がありました。福津市10年のあゆみを振り返ります。

平成17年

1月24日 福岡町・津屋崎町が合併し「福津市」が誕生

3月6日 市長選挙 初代市長に池浦順文氏

3月7日 池浦市政スタート

3月20日 福岡県西方沖地震により市内でも道路の亀裂や陥没、ガス管・水道管の破損などの被害が発生

4月23日 「福津市魚センター」がグランドオープン

9月14日 ヤフードーム（現ヤフオクドーム）で「福津市PR隊 in ヤフードーム」が福津市をPR

平成18年

1月15日 福津市誕生1周年記念式典

2月17日 「津屋崎千軒通り藍の家」帯」が福岡県主催の第18回福岡県美しいまちづくり賞優秀賞を受賞

4月3日 福岡庁舎・津屋崎庁舎と市内各所を結ぶシャトルバスの出発式

8月5日 潮湯の里夕陽館の入浴者数が50万人を突破

9月1日 「福津市のびのび発達支援センター」が開所

10月21日 「まちづくりシンポジウム」を開催

秋ごろ 福岡駅東土地区画整理事業で本格的な造成工事に着手

12月24日 市議会議員一般選挙

平成19年

3月 市の総合計画、地域づくり計画、分野別計画が完成

3月31日 西鉄宮地岳線の一部（西鉄新宮〜津屋崎間）が廃線に。津屋崎駅で「最終臨時列車出発式」

4月1日 福津市と宗像市で構成する4つの一部事務組合が統合されて「宗像地区事務組合」に

9月 「福津二十六景」を選定

9月21日 藍の家を有形文化財（建造物）として登録するよう国文化審議会から文部科学大臣へ答申

12月5日 藍の家が国の有形文化財（建造物）に登録

平成20年

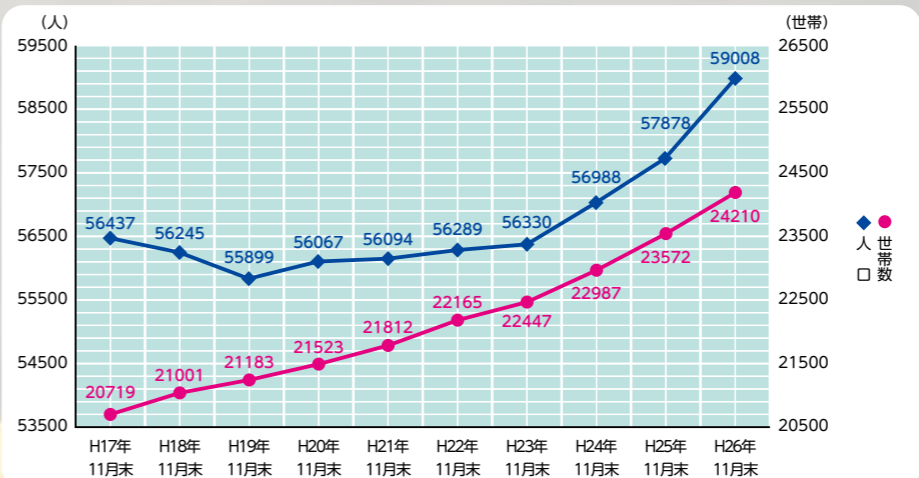
3月31日 福岡浄化センター供用開始

4月1日 「ふくとびバス」が運行開始

4月1日 津屋崎郷づくり交流センターがオープン

4月26日 潮湯の里夕陽館の入浴者数が70万人を突破

人口・世帯数の推移



福津市が誕生してからの人口・世帯数の推移をグラフにしたものです。

人口は、平成17年から平成19年にかけてやや減少し、その後しばらくは微増が続きましたが、平成23年以降は年600人から1000人という急激なペースで増加しています。

主な要因としては、桜川やあけぼの、日蔭野など新しく開発された宅地への転入のほか、宮司・津屋崎地区の新たに市街化した地域への転入が考えられます。

世帯数に関しては、平成17年以降は減少に転じることなく増え続けています。

平成19年12月
藍の家が国の有形文化財に登録



平成25年3月
小山市政2期目スタート



平成22年2月
JR福間駅の新しい駅舎が開業



平成22年12月
市道四角両谷線・西郷新橋開通式と記念ウォーキングを開催



平成25年4月
児童センター「FUCSTA」がふくとびあのにオープン



5月24日 福岡浄化センター通水記念式典開催

9月6日 男女共同参画都市宣言5周年記念行事を開催

12月1日 「福津市みんなですすめるまちづくり基本条例」施行

平成21年

1月5日 「宗像・沖ノ島と関連遺産群（新原・奴山古墳群）」が国内の世界遺産暫定リストに追加される

2月8日 市長選挙、県議会議員補欠選挙

3月5日 池浦順文市長退任

3月6日 小山市政1期目スタート

7月12日 福津市まちおこしセンター「津屋崎千軒なごみ」がオープン

平成22年

2月27日 JR福間駅の駅舎が開業

4月1日 JR福間駅構内に「エンゼルスポット」がオープン

4月1日 福津市と宗像市の上下水道事業を宗像地区事務組合に統合

12月11日 市道四角両谷線・西郷新橋が開通

12月26日 市議会議員一般選挙

平成23年

2月5日 JR福間駅の自由通路が開通、併せて市行政・観光情報ステーションがオープン

8月2日 市立図書館の図書などの貸出件数が1,000万件を突破

平成24年

4月1日 福岡郷づくり交流センターが開業

4月17日 市道「原町津丸線」の一部と「上西郷・両谷2号線」が開通

11月4日 花見地区で大規模な津波避難訓練を実施

平成25年

2月3日 市長選挙、市議会議員補欠選挙

2月15日 買物支援モデル事業「イロイロお届け便」事業開始

3月6日 小山市政2期目スタート

3月31日 市立福岡保育所が49年の歴史に幕

4月1日 児童センター「FUCSTA」オープン

平成26年

10月1日 福岡南郷づくり交流センターが開業

12月28日 市議会議員一般選挙

1月24日 福津市市制10周年記念式典（予定）

平成25年3月
市立福岡保育所が49年の歴史に幕

